

## 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 26 年 8 月 14 日〔木〕 19:30～20:15
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 8 名 出席委員数 7 名 欠席委員数 1 名

出席委員の氏名

深田 剛／越間 孝子／里村 正力／重村 久美子／肥後 智子／元田 豊春／元野 健三

欠席委員の氏名

元井 雄太郎

放送事業者側出席者名

麓 憲吾／丸田 泰史／渡 陽子／中田 健治／手蓑 慎之祐／作井 美由紀／宮田 愛

### 4 議題

審議(「Dr.ピョン吉と奄専のメディカルカフェ」について )

### 5 議事の概要

- (1) 欠席者のお知らせ
- (2) 審議(「Dr.ピョン吉と奄専のメディカルカフェ」について )
- (3) 次回の審議議題について

### 6 審議内容

- (1) 欠席委員の報告がされた。
- (2) 番組内容の審議(「Dr.ピョン吉と奄専のメディカルカフェ」)

### 深田委員長

みなさん、こんばんは。

第 45 回あまみエフエム番組審議会を行いたいと思います。

一度、今日何をするか、一通り簡単に(資料を)読まさせていただきます。

みなさんに事前に CD を渡していますので、その感想、もっとこうしたらいいとかこういったゲストを呼んだらどうかとか、第三者の目から審議会の目からよりいい番組になるようにご意見をいただけたらと思います。

放送日時は、本放送が第1・第3月曜日の 13 時からの 30 分、そして再放送が第1・第 3 月曜日の 19 時から 30 分放送されています。内容は、奄美看護福祉専門学校提供の番組です。奄専(奄美看護福祉専門学校、以下「奄専」)校長の平瀬吉成さん、職員の仲武睦広さん、一般の川口小百合さんがパーソナリティを勤め、専門医や、学校職員をゲストにお招きし、様々な健康・福祉・介護に関する情報をお送りする番組です。コーナーは、「末広診療所お悩み相談室」、「情報マンディ！ナンだか奄専通！」。ときには、健康に関する川柳を紹介しています。

健康に関する番組ということで、なかなかなかった番組なんですけど、何年くらい前からあるんですか？

### ー放送局 丸田

番組は始まって 2 年くらいです。

## 深田委員長

当初からある番組ではなく、途中から新規で始まった番組ということです。

各委員から、ご質問もあるでしょうし、感想もあると思いますが、お気軽にお話しただけたらと思います。トップバッターは、ぜひ元田委員をお願いします。

## 元田委員

ピョン吉先生の番組のことは初めて聴きました。初めて聴いて感じたことをお伝えします。

最初、一週目の放送は、歯周病のことで、知識がないことを歯医者さんが伝えてくれて、歯医者さんのしゃべり(説明)が上手で、自分も歯医者に行かなきゃいけないなと思いました。

2週目は、リスナー(の立場)で先週聞いて、今週も聞くとすると、同じことの繰り返しの様な気がして、「聞かなくなるかも」という感じはしました。2週連続(同じ分野の話しを放送)したっていうのが、相談とか悩みとか相談しているんですけど、その相談数が少ないのではないかと思います。もう少し(お悩み相談)募集の呼びかけをした方がいい、相談とか悩みを相談する人が増えるように何かあったらいいなと思いました。(相談を)募集する中で、アドレスとか言っているんですけど、昔聴いていたラジオでは、(メールアドレスの)小文字大文字があって(メールが)送れる送れないというのがあるので、(小文字大文字の)説明したほうがいいと思います。(相談を)募集をかけるのは、CM 入る前にも一回あったらいいと思います。専門の方が話している流れで、(聴いて)感じて聞いてみよう!と思うだろうし、途中、学生さんのを挟んで募集をかけると、心理的な部分で違うと思います。CM の前にもあると違うと思いました。

## 深田委員長

元田委員には、たくさんのご意見を出していただきました。

歯周病は、意外と若い人でもあると聞きました。あと飽きが来ないとか、投稿しやすいといったことが確かに必要だと思います。

では、重村委員をお願いします。

## 重村委員

庶務的な質問なんですけど、どうして平瀬先生が「Dr.ピョン吉さん」になったのか、教えてほしいです。あだ名なのかなんなのか。

## 一放送局 丸田

平瀬先生は、よく眼鏡を頭上に引っ掛けているんですね。アニメで「ど根性がえる」はご存知ですか?その主人公の「ヒロシ」とそっくりなんですね。けれど、ヒロシと呼ばれずに、もうひとつのメインキャラクターの名前、T シャツの中に住んでいる、カエルの「ピョン吉」というあだ名で若いころ呼ばれていたということで、Dr.ピョン吉となりました。ご自身もピョン吉先生と呼ばれることを好きということだったので。

## 重村委員

それが疑問だったんです。

それと、川口小百合さんは、医療秘書ですか?医療司書にも聞こえますけれども。

## 一放送局 丸田

医療秘書です。

### 重村委員

平瀬先生があまりに早口なので、びっくりしてしまって、聞き取れるかなと心配だったんですけど、(聞いているうちに)慣れました。歯周病とか言うと、歯医者好きな人はあまりいないと思うので、難しい話になりがちかなと思っていたのですが、川口小百合さんが途中途中で、「こわいこわい」と言って、リスナーの代弁をしてくれて、男性だけの中にアクセントをつけてくれて、場が和んでよかったです。平瀬先生は、歯科医に転職したのではないかと思うくらい詳しくて、思わず笑ってしまいましたけれども、(歯科医の)畠先生もお人柄が出ていて優しいやわらかい語り口で、聞きやすかったです。初めて勉強になる、わかることもあって、歯周病から起こる合併症、それから、年に2回はチェックしたほうが良いということ、歯磨き粉は特にはいらぬということ、何かをしながらでいいので20分間はマッサージをなさぬということもわかりました。唾液にも菌が含まれていて、誤嚥性肺炎になるということも初めて知って、中身があって勉強になりました。

その次に、子ども介護福祉学科っていつて、生徒さんたちの意見があったんですけど、これは学校のPRも兼ねているんですか？こういう資格がたくさん取れるんですよってことで、ちょっと盛り上がりがないような気がしました。こんなに資格が取れるのだったら、すでに学校を卒業して現場で働いている方もゲストにお招きして、「(わたしは)こうだった」と言って盛り上げたいなと思います。私たちは子育てが終わって、あまり、この奄美看護福祉専門学校とは縁がなく、関心がなかったんですけど、PRを盛り上げて上手にしたら、耳を傾けたくなると思います。

平瀬先生の歯医者に行った体験談は、個人情報意識することもなく、ポケットの深さまで暴露してくれて、体験談なので真実味もあって、おもしろく聴かせてもらいました。

元田委員が、何度も繰り返しになるとおっしゃっていましたが、確かに言われてみればそうなんですけれども、私的には、たくさん勉強させてもらって、久々にためになる番組でした。

### 深田委員長

歯周病の件は、知らなかったことがあって衝撃でしたけど、ラジオでこう知る機会が生まれるというのは、いいことですね。

では、越間委員お願いします。

### 越間委員

私はいつも事務所で聴いているので、番組のことは知っていたのですが、仕事をしながらなので、フルで聴いてはいませんでした。今回ちゃんと向き合って、フルで聴いて、ましてや気になる歯のことだったので、思わず20分ブラッシングしてしまったくらい。なにもつけずにブラッシングするだけでも、マッサージになることを知りました。15分15分なので、とっかかりにしかならないので、自分の興味のあるものと引き込まれて聴くけれども、忙しいときには、自分の中に入ってこなければ、スルーしてしまいそうです。

先生は、内科外科だから、まさか歯のことをやってくれると思っていなかったもので、今度是非、紫外線、シミについて、時期的に夏なのでやってもらえたらうれしいと思います。

専門学校の件は、子どももないし関係ないのですが、島に専門学校があるのはいいことなので、こうやって耳に触れるってことはいいことだと思います。

次の週のときに、先生がちゃんと体験してくれたので、「じゃあ今度わたしも！」と思いましたので、またちょ

っと他のシリーズをしてさらに通われるそうなので、その経過を教えてもらえたらうれしいと思います。

## 深田委員長

次に里村委員お願いします。

## 里村委員

番組については、仲武先生を通じて知ってはいたんですが、あまりゆっくり聴いたことがなくて、じっくり聴かせていただきました。健康面、福祉面に興味を持って取り組んでいますので、どんな内容だろう、自分の知っていることかな、と聴いていたところ、歯周病という自分の弱いところだったので、ためになりました。思わぬ分野が来たので、2年以上続いている番組だと聞いていますが、様々な分野を網羅しているんだろうなと感じました。

ラジオとは外れてしまうんですが、よく NHK などの健康番組でも、番組をしたあとに冊子を作ったりして、図解とかあって、販売につなげたりしてるんですけども、聴いていたら専門用語が出て来ているので、図解があったらわかりやすいのになって思いました。専門学校が図解や冊子を用意していたら、ラジオとコラボできないかなというイメージをしてみました。

## 深田委員長

いいアイデアですね。情報の二次利用、三次利用ですよ。私も経営者としても、考える中で、みんなで力を合わせてやったことを二次利用、三次利用できるように工夫はしていくようにしているので、いい考え方だと思います。

肥後委員、お願いします。

## 肥後委員

私は、初めてこの番組を聴きました。

笠利の人たちは、平瀬先生のことを信頼しているんですよ。平瀬先生はなんでも診てくれるというような感じで、自分が子どもの時には、お腹が痛ければ「まず平瀬先生」、小児科ではなくて平瀬先生のところに行っていた記憶があります。今回のこの番組を聴いて、信頼されているんだなって思いました。

(歯科医の) 畠先生は、説明がとてもわかりやすく、例えば横文字で言われてもわかりにくいのですが、「こういう細菌があって」とかっていうのでくっくれるので、ひとつのフレーズに「それってなんだろう」ということを考えなくてよかったです。初心者にわかりやすい感じで教えてくれて、平瀬先生が口臭を測るのを「口臭を測ってるんだ」というのをおっしゃっているときに、「え、今頃？」と正直思いましたけれども、きっとわかりやすい感じで言ってくれたんだろうなと思ったり。川口さんもいいパスを出すので、すごい初心者にも歯周病のこともやさしい説明から入っていたので、いい勉強になりました。

体験談のところも、わたしたち(審議委員)は(今回のサンプルを聴いて)前回何があったか流れでわかるんですけど、もし、初めて聞いた人は、「前回どうい話をしたんだろう」と思うんでしょうけれども、でも、病院に歯科に行かなければいけないという大事さは伝わるので、よかったですと思います。

子ども福祉学科がこういう風に資格を取れるんだと思いながら聴きました。その資格を生かして、どういうところで卒業生が仕事しているのか、福祉施設だったり、紹介はしてくれているんですけども、具体的に卒業生が来て(話して)くれたら、もっとみんな興味を持ってくれたと思います。

わたしは、今自分が子育てをしているので、子ども福祉学科のようなところで勉強した人とそういうのに触れないで大人になった人っていうのは、子どもを育てるときに全然違うんです。男の人も女の人も違うんですけども、

女の人は持って生まれた母性がありますけれども、男の人って言うのは、何かのきっかけでそういうのを聞かない限り、なかなか自分たち大人が子どもにどういう影響を与えるんだとか、小児心理学だったりとか、この専門学校を出た男の人の「授業で『日本の親は謙虚なんだけど、なかなか子どもを褒めない』ことを聞いて、子どもができたときには、自分は褒めて育てるようにしようと思った」といった話を聞いて、そう思う男の人もあるんだなって思いました。そういった仕事に就いた就かなかったは別にして、そういうきっかけがあったっていうのはすごくよかったので、その卒業生つながりで、専門学校で学んだことは「すごくよかったよ」とか、話していただければ、違った入り口があるのかなと思いました。体験入学の話もありましたが、一旦子育てを終えたとか子育てをしながら社会人になってからカムバックっていうんですか？ けっこう増えていると思うんですよ。こういう方もいます、とかいう入り口を紹介してあげたらよかったと思います。手続きの仕方も「こういうのがありますよ」とか、そこまで言ってくれたら、もしかして「自分もやってみようかな」って思う人もいます。ちゃんとしたPRの形としては、背中を押せるとか道が開けるとかっていう方がいるかもしれないと思いました。

## 深田委員長

元野委員お願いします

## 元野委員

職場でずっと(ラジオを)流してまして、この時間耳に入ってくるんですが、正直まともに聴いてなかったような気がします。

こういう病気のこととなると「自分には関係ない」と思ったりするので、なかなか聞き入ることができないと思ったんですけど、聴いてみると、「ああ(納得)ためになる」となるんですが、なかなか聴き入ることは難しいと思ってしまいました。さっき、元田さんもおっしゃっていましたが、お悩み相談の件数も少ないのではないかと思います。何を相談したらいいのかなというの、なかなか分からないんじゃないかと思う。例えば、傷ができたり湿疹ができたりしたときに、「写真を一緒に送ってくださいね」とか(具体的に言ったらいいのではないか)、すぐすぐ病院に行かない人もいますので、助かるなと思いました。

病気のこととかもそうなんですが、怪我の初期の対処方法とか、例えば「子どもがやけどしたら何したらいい」とか、対処方法的な専門的なこと(を説明していただけたらいい)、もしかしたら放送を数年やっていますので、やっていたりもすると思うので、そういうのがあったらいいと思います。

うちの職場に AED があるんですが、使い方もわからずにいます。そういう器具がありますので、器具の説明をちょっといれてくれるとか。テレビで見ましたけれども、AED の使い方は、3~4割の人が使えると答えなかったみたいです。自分の病気じゃなくて、周りに怪我したりとかの対処法があったら、すごい役に立つかなと思ったりしたので、その分野もあるといいと思います。

病気に関しては、どの世代に向けてというのが難しいと思うので、今回は歯周病で三十代四十代でもかなりの割合で多いっていうのがあったんで、私も歯周病があったりするので、聴いていたんですけど、自分に関係なかったら聞かないのかなと思ったりするので、どの世代に向けてっていう発信が難しいなって思いました。

元田さんも言っていたみたいに、私もタイミング的に前半後半に(お悩み)募集のアドレスをほしいなっていました。たぶん、最後まで聞けなかったらどうすればいいのかなと思うので。たぶん、エフエムさんのホームページを見ればいいというのはあると思うんですけど、番組を聴いている中ではなかなか難しいと思うので。メール・ファックスだけでなく、留守電とか。電話番号だったらすぐ覚えれたりするので。東京FMとかで留守電にという番組があって、できていけたらおもしろいんじゃないかと思います。

## 深田委員長

私の方から、感想と質問がありますので言わせていただきたいと思います。

この番組は、スポーツに特化した「あますばディ！ラックス」や今回の健康に特化した「ピョン吉先生」、次回の議題が「放送ディ！学」って書いてあるんで、たぶん「放送大学」をもじったと思うんですけど、文化面に特化した番組なんで、いろんな分野に特化して、非常にバランスの取れているいい番組だと率直に思いました。

30分番組ですけど、1つの病状に対して深掘りするのか、それともいろんなコーナーを分けてやっていいのかわか、今回聞く限りだと、コーナーが分かれている方が、30分途中からでも入れるので、今のとおりのコーナー分けしている方がいいのではないかと思います。先ほどから出て来ている、お悩み相談室のたくさんの方の事例を募集するにあたっては、別の場所とかいろんな場所に目安箱みたいなものを置くとか。

あえて不安を煽るような形ではありますが、悪化した事例のエピソードを言った後に、お悩みの事例をとって、ご相談につなげるとかという形も必要ではないかと思います。

生徒の募集に関してなんですが、卒業生の声をもらうというよりは、「ここに通ったおかげで、こうして島で、技能を身につけることができました」とか、通信販売でよくある手法ですが、第三者の方のお客様の声をもらって、ぜひ卒業生の声をいただいて、アピールするっていうのも、こちらから宣伝するよりも、第三者の人の声の方が響くと思いますので、是非卒業生の声も入れた方がいいと思います。相談の募集は、悩みを投稿するのは、ご年配の方が多いいと思いますので、ご年配の方が相談しやすい方式を考えた方がいいと思います。

最後、2点質問で終わりますけれども、制作側から制作するきっかけを教えてくださいたいのと、人数について、3人のパーソナリティという珍しい形ですけども、3人という形はどういうお考えなのかを聞いて終わりたいと思います。この2点です。

## 一放送局 丸田

まず、制作のきっかけとしては、奄美看護福祉専門学校とは非常にやりとりをさせていただいていて、奄専祭とか子どもたち主体での学校PRのお祭りでつながりができました。今回の番組は、医療関係に特化していますが、調理師養成コースもあって、そこの卒業の最後の仕上げの作品発表みたいなところにも伺わせていただいたりとかしているんですが、その中で、奄専で、島で出た専門学校の中で「十分な医療知識や専門知識」が修得できるということをPRしたいという思いと、平瀬先生が校長先生に就任したということで、平瀬先生の医療的な要素を含めたところと、学校のPRができないだろうかというご相談をいただいていた。事務長の仲武先生からも、「医療事務コースもある」というお話を伺っていたので、子どもたちにも、ラジオ出演することで、意識付けができるんじゃないかというお話がありました。あまみエフエムの番組の中には、医療的な番組もなかったのでも、そのあたりも含めて、ほしいものとマッチングをさせてこの番組の誕生に至ったということになります。

今、川口小百合さんがお話に出ていますが、最初の頃は、仲武先生も事務長という役割を持って、平瀬先生（ピョン吉先生）を中心に、一つの小さな病院の事務長と医療秘書という形でご出演されていました。実際、川口さんは医療秘書ではないんですが、番組の中でのポジションとして、役割分担をして、事務的なことだったりとか、みなさんがいうコメントのジャンルをわけていたというきっかけがあったんです。その中で、医療・病気の川柳なんかがあったらおもしろいよね、とかっていうことでコーナーができあがったり、時期によっては学校の子供たちを紹介しようという形で出て来たり、小さなアレンジがあって今の形になっています。

## 深田委員長

ありがとうございます。そのほか、委員からご意見ご感想がでましたけれども、制作側から何かご質問はありませんか？

## ー放送局 中田

番組(Dr.ピョン吉と奄専のメディカルカフェ)を担当している、中田です。

先ほど、みなさんがおっしゃっていたんですが、前半と後半のほうの特に前半の終わり部分に応募先を入れたほうがいいとのことでしたが、電話番号は入れています。手紙の送り先も番組の最後あたりに入れているんですが、前半部分、後半部分、どちらにも入れた方がいいですか？

## 深田委員長

番組上支障がないのであれば、前半を少なめにして、後半にきっちり入れればいいのではないかと思います。

## 元野委員

尺があるなら、入れた方がいいと思います。

## 深田委員長

そうですね。番組に支障が出るのであればまた別ですけども、そうでなければあった方がいいですね。

## ー放送局 中田

ありがとうございます。

## ー放送局 丸田

2ヶ月に1度の番組審議会の開催ということなので、今回は10月16日木曜日19時30分を予定しています。また近づきましたら、みなさんのほうにもご連絡をさせていただいて、もうちょっと近づかないと予定がわからない方もいらっしゃると思いますので、そこで調整をさせていただくということによろしいでしょうか。

次回の番組審議会が10月16日に決定し、審議会は閉会する。

## 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回の審議会までに改善に努める

## 8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

① 自社放送:平成26年9月6日(土曜日)6:00~放送

② 書面の備置き:平成26年7月5日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を問う法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応

③ インターネット:平成26年7月5日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに掲載

## 9 その他の参考事項 なし